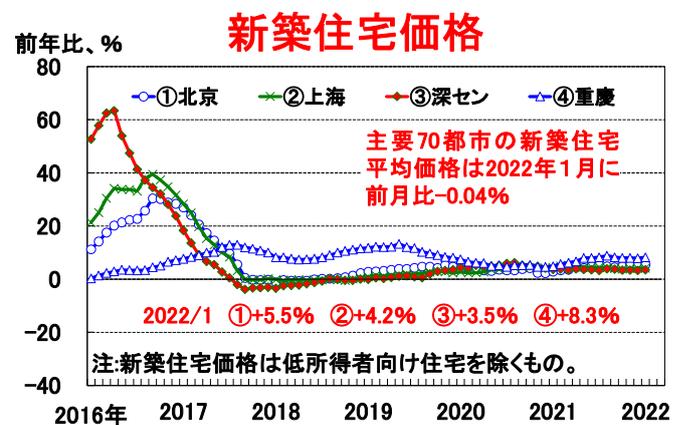
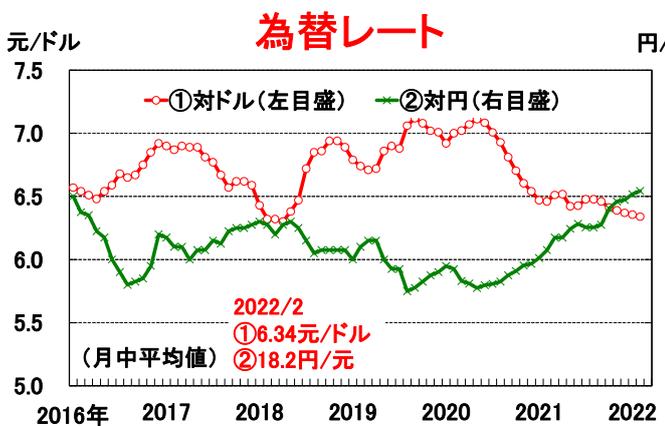
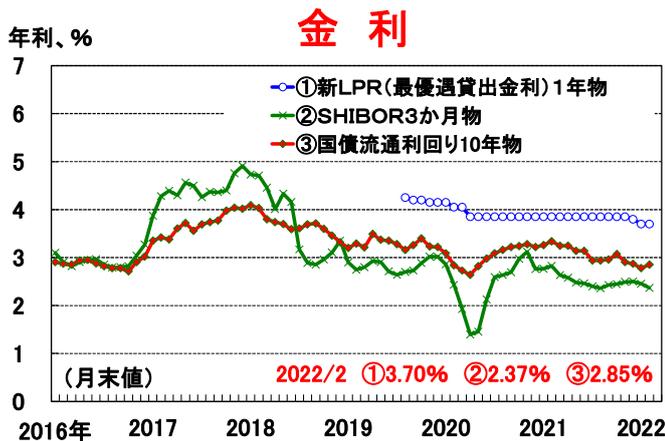


グラフで見る中国経済 2022年3月号(No. 154)

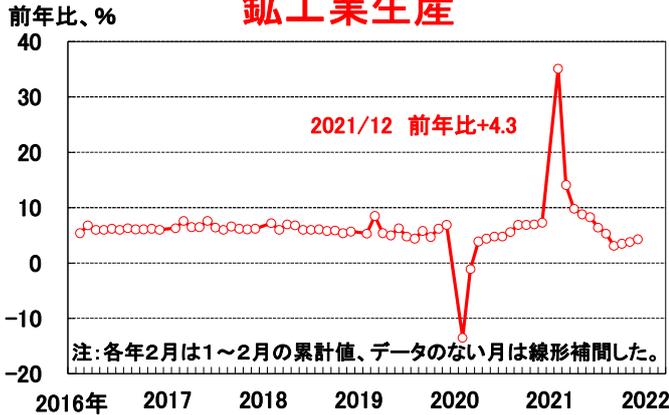
中国の景気は改善が足踏みしている。OECD景気先行指数は、2021年9月に長期平均線(100)を割り、その後も下落を続けている。2022年1月の主要70都市の新築住宅平均価格は前月比-0.04%(21年12月は同-0.28%)とわずかながら5か月連続で下落した。習体制は不動産投機取引の引き締め強化策を一段落させたものの、住宅市場は落ち込みが続いている。また、2月の製造業PMIは50.2(前月は50.1)と依然中立水準(50)の近辺で伸び悩んでいる。内訳を見ると、新規受注が増加したものの、生産の増勢が弱まった。



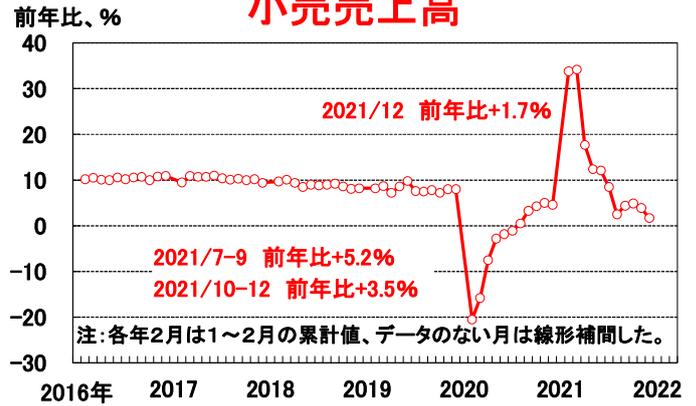
(出所) 中国人民銀行、中国国家统计局、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

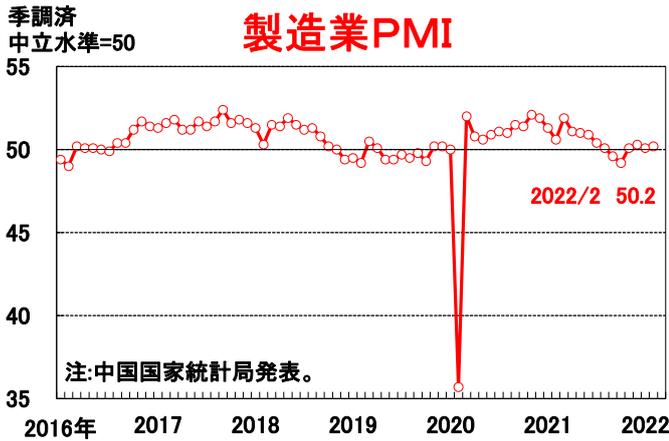
鉱工業生産



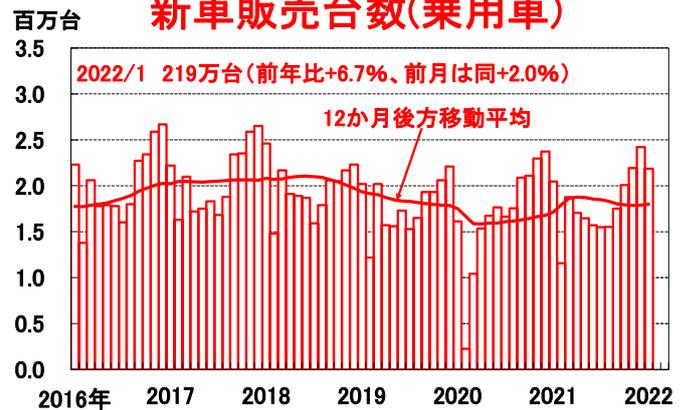
小売売上高



製造業PMI



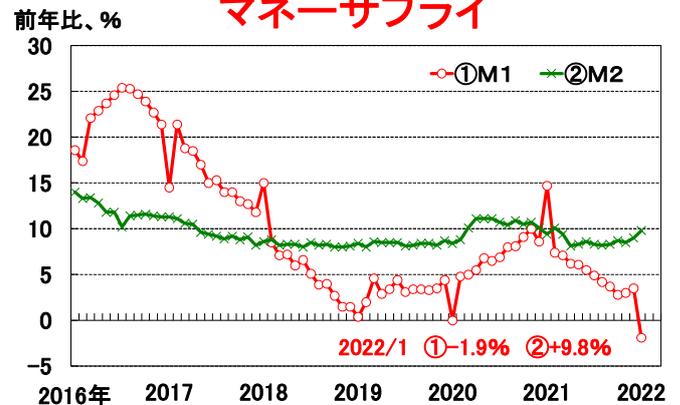
新車販売台数(乗用車)



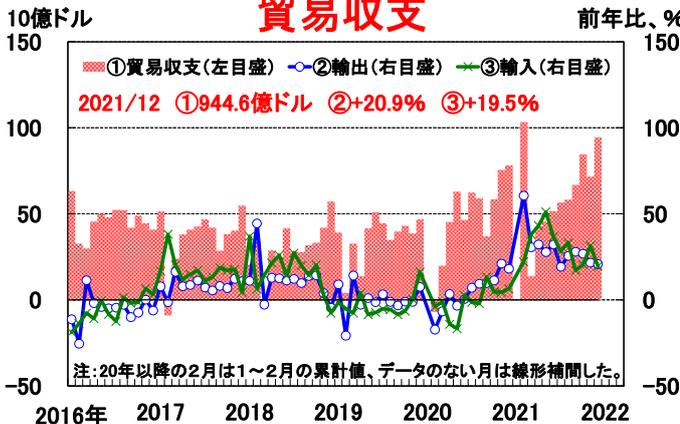
固定資産投資



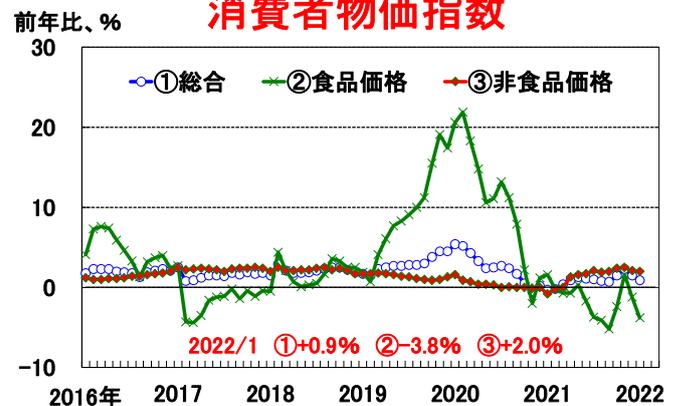
マネーサプライ



貿易収支



消費者物価指数



(出所) 中国国家统计局、中国海関総署、中国商務部、中国汽車工業協会、中国物流購買連合会、中国人民銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。